

令和7年度 大田区精神保健福祉地域支援推進会議 議事録（要旨）

日 時：令和7年12月22日（月）14時00分～15時30分

会 場：大田区役所本庁舎 第五・第六委員会室

1 開会

2 保健所長挨拶

3 委員の紹介

4 報告

(1) 令和6年度大田区における精神保健福祉分野の状況について

〔健康政策部健康づくり課長より保健分野について資料1・2説明〕

〔福祉部障害福祉課長より福祉分野について資料3説明〕

(2) 障がい者総合サポートセンターの取り組み

〔障がい者総合サポートセンター所長より資料4説明〕

(3) 居住支援協議会の取り組み

〔まちづくり推進部住宅政策担当課長より資料5説明〕

(4) コア会議報告

〔健康政策部健康づくり課長より資料6・7説明〕

(5) おおた健康プラン（第四次）の策定について

〔健康政策部健康医療政策課長より資料8説明〕

6 意見交換

《委員》

- ・長期入院者退院後の受皿となる居住の場は大きな課題。地域に戻る方ができる方には、地域社会で自分らしく生きてほしいのが家族の思い。長期入院者に特化したグループホームができたらよい。
- ・家族の力で家族の問題を解決できる関係だと、当事者の再発も少ないと聞いている。家庭訪問が増えたとのデータがあるが、当事者だけでなく家族丸ごとの支援ができたらよい。

《委員》

- ・ 居宅介護の利用者数が減っている状況があるが、減少理由を区はどのように考えているのか。区内事業所の様子などのデータを持っているのか。
- ・ 65歳以上の長期入院者がかなりの割合を占める中で、居場所の問題は現状の制度の中で賄いきれない部分が大いと思うが、施設に関して今後の計画の方向性について何か考えがあるか。
- ・ 家族丸ごと支援について、誰が家族全体を支援し伴走できるかという点、制度・部署・管轄の違いでつながっていない現状があると思う。区の方で何か考えがあるか。

《区側》

- ・ 今年度障がい者実態調査を行い、当事者だけでなく事業者にもアンケートを実施し、現在集計中。実態調査の中で出てきた課題を確認し、来年度の障がい施策推進プランにつなげていきたい。
- ・ 家族支援について、当事者の思いも受け止めつつ、その家族とも本音で話ができる関わりが必要。今後どんなことができるか考えていきたい。

《委員》

- ・ 居住支援について、長期入院の理由として、退院後の住居がないという回答が最多であったことは非常に重いものと認識している。医療の努力だけでは解決できない問題であり、住宅、福祉、医療が一体となる居住支援、地域の伴走支援を増やすため、一緒に議論する機会をつくってほしい。
- ・ 障害福祉サービスについて相談されることもある。当事者実感として、サービスがどのように使えるかだけでなく、使い始めの壁や使うにあたっての質についても区で把握を進めてほしい。特にサービス支給決定後に、適切な形のサービス利用について相談する機会がないという相談が近年増えている。事業所を探すのも難しく、体調面に困難を抱えている当事者からすると、非常に苦しい状況。現状、区としての認識を伺いたい。

《区側》

- ・ サービス導入時にはいろいろな調査の中でサービスの意向を伺っている。障がい者実態調査では、精神障がいのことも今までよりも意識した内容で実施しているため、結果をふまえて検討していきたい。

《委員》

- ・障害福祉サービス利用されている方々の状況については、保健師のヒアリングなども行って実態把握に努めてほしい。
- ・計画相談の立場として、長期入院で生活能力が落ちていてグループホームに適応できず再入院する、区内で受入先がなく都外の遠方の施設に入所する方たちを多く見ている。グループホームで家事援助を受けるには、区分4以上という要件がある。精神障がいの方で区分4以上の方はまずおらず、使い勝手が悪い。また、居宅介護で家事援助だけだと事業所に断られてしまうことが多い。
- ・災害時の避難所運営の中で、障がい者のことはあまりうたわれておらず、避難時にどう対応したらよいのか。災害時対応について、区はきちんと広報した方がよい。
- ・若年の警察官通報や措置入院数が増えていることについて、訪問看護でも児童・思春期、若い世代の方がここ3年位で増えている。関係機関と連携し、受診につながるよう支援しているが、受診までに平均3～4か月かかる。その間に自傷で措置入院になることも多い。訪問看護は家族も対象。主治医と相談の上、本人・家族それぞれに訪問に入ることもある。
- ・南晴病院では長期入院者は減ってきているが、長期入院者が地域生活を練習できる施設があるとよい。日中活動支援型グループホームは地方が多く、住み慣れた大田区でできるとよい。例えば空き家を活用して地域の方々が協力しながら支援者と一緒に練習できるなど、地域の皆さんと話し合っていけたらよい。
- ・東京都全体でも令和6年度は措置入院者数が増えている。年々警察官通報者が増加傾向にあり、適切に医療に繋げるため、制度運用・体制の改善を図っている。また、長期入院者に関するアンケート調査について、他区では病院調査をした後に退院希望患者がいる病院へ訪問し、区で活用できる事業などを紹介しているところもあると聞いている。
- ・精神障がいを持つ方への支援は、軌道に乗って効果が出るまでに時間がかかることが多い。現場で支援している方々の意見をこのような形で区へ伝えることができているため、ぜひ施策に活かしていただきたい。

6 部長挨拶

7 閉会